

## 公立大学法人滋賀県立大学の業務の実績に関する評価結果について（概要）

地方独立行政法人法第78条の2の規定に基づき、滋賀県公立大学法人評価委員会は、滋賀県立大学の第3期中期目標期間（平成30年度～令和5年度）のうち平成30年度の業務運営の実績等について、評価を行った。

### 1 項目別評価の結果概要について

項目名	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B 概ね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
大学の教育研究等の質向上		○			
大学経営の改善		○			

### 2 全体評価の結果概要について

(1) 評価結果：進行状況については「計画どおり進んでいる」

#### (2) 特筆すべき事項

##### ① SDGsの推進に向けた取組

「滋賀県立大学SDGs宣言」を行ったほか、SDGsについて先進的な活動を行う大学に学生を派遣し、取材や意見交換が行われた。SDGs学生大会を開催し、積極的な意見交換と交流が行われた。

##### ② ブランド力の向上に向けた取組

積極的なパブリシティ活動が行われたことにより、新聞掲載件数は433件となり、対前年比37.9%増と、大幅に増加した。UI<sub>※1</sub>（ユニバーシティ・アイデンティティ）活動の推進に向け、取組方針が策定された。

#### (3) 今後の取組を期待する事項および課題となる事項

##### ① 地域教育プログラムの充実等に向けた取組

平成29年度に大学COC事業が終了し、今年度末にはCOC+が終了する。事業終了後も、地元志向教育や雇用創出、若者定着に向けた連携体制を継続できるよう、十分な検討がなされることを期待する。

##### ② 外部資金の獲得

大型の受託研究、共同研究の減少により、外部資金収益が減少してきている。引き続き、積極的な外部資金の獲得が求められる。URA<sub>※2</sub>（ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター）オフィスとして、「研究推進室」が平成31年4月に設置されたところであり、今後の取組を期待する。

※1 UI (ユニバーシティ・アイデンティティ): 大学のアイデンティティを確立し学内外に表明することで、社会における役割や個性の明確化、大学イメージの構築を目指すもの。

※2 URA (ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター): 研究者とともに研究活動の企画等や研究成果活用促進を行うことにより、研究活動の活性化や研究開発のマネジメントの強化等を支える業務に専門的に従事する人材。